



令和6年
石井小学校

としょかんだより

6月号

※保護者様へ お子様と一緒に読みください。

雨の多い季節になりました。日本では6月から7月にかけてのこの季節を、「梅の熟すころの雨」→「梅雨」と呼ぶようになったそうです。

日本ではそれぞれの季節に、すてきな名前がついていることがあります。ぜひ図書室の本で調べてくださいね。

あめの雨の日の図書室は

雨の日には、いつもよりたくさんの方が図書室を利用します。

長い列ができたり、混みあったりしますが、そんなときこそルールとマナーを守り、周りの人に迷惑をかけない過ごし方ができるようにしましょう。

～こんなことに気をつけよう～



①列に並んだら

「時間内に借りられるかな？」と焦る気持ちもあるけれど、自分の番になるまで、落ち着いて待ちましょう。

②自分の番になったら



本のバーコードを読み取ってもらうときに、「借ります」「返します」のどちらなのか伝えるようにしましょう。そうすることで、早く手続きをすませることができます。

③周りにいる人のために

歩いている人や借りる本を選んでいる人のために、通路や本だなの前をあけておきましょう。みんなが気持ちよく利用できますよ。



混んでいるとイライラするけど、ちょっとがまん！
図書委員さんも、いっしょうけんめい、がんばっています。





6月15日は栃木県民の日

みなさんに誕生日があるように、わたしたちが住んでいる栃木県にも誕生日があります。

1873年(明治6年)6月15日に、それまでの栃木県と宇都宮県が一緒になって、

おおむね今と同じ地域の栃木県が誕生しました。

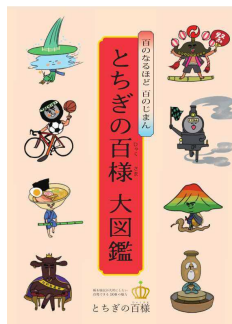


この日を記念して、6月15日は「栃木県民の日」となり、県内ではさまざまなイベン

トが行われ、文化施設が無料開放されることもあります。



図書室では、栃木県についてもっと知ることができる本や、栃木県にゆかりのある人の
本コーナーを作りました。みなさんの知らない栃木の姿を発見してみてくださいね。



『とちぎの百様大図鑑』

著者：栃木県

出版社：栃木県総合政策部

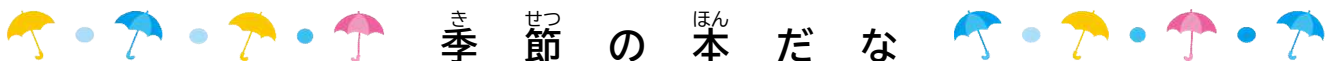
ちいきしんこうか
地域振興課



『ひとりぼっちの
さいしゅうれっしや』

作：いわむらかずお

出版社：偕成社



季節の本だな

ここで紹介する3冊は、すべて石井小の図書室で借りられます。「雨」がテーマの本を
読んで、雨の日を楽しくすごしましょう♪ お天気の本など、たくさん用意しています。



『しずくのぼうけん』

作：マリア・テルリコフスカ

絵：ボフダン・ブテンコ

出版社：童心社



『雨、あめ』

作：ピーター・スピーアー

出版社：評論社



『あめ ぽぽぽ』

作：ひがし なおこ

絵：きうち たつろう

出版社：くもん出版